

あけましておめでとうございます。  
 去年は、大変お世話になりました。  
 今年も、天高図書館をよろしく  
 お願いいたします。



いよいよ3学期が始まりました。受験、卒業式など、大切な節目の学期となりました。まだまだ、寒い日が続いています。体調管理には十分に気を付けてください。

★今年の干支(えと)は巳(み)。巳年の「巳」は動物に当てはめた十二支だと「蛇」になります。「蛇」は脱皮することから、再生と繁栄を象徴し、金運や富と結びつくといわれています。巳年うまれの方は、思慮深い人が多いといわれているそうです。岡田将生、香取慎吾、松たか子、仲里依紗、宮崎駿(敬称略)は、巳年生まれです。みなさんの周りの巳年の方は、どんな人でしょうか？

★今月は、短歌を特集しています。短歌といえば、百人一首を思い浮かべる人が多いと思いますが、「現代」を歌う注目歌人がいます。五・七・五・七・七の五句から成り立つ短い詩の中に、見落としがちな日常や人の心情が詰まっています。みなさんの心にそっと寄り添う作品がたくさんあります。ぜひ、図書館に来て、あまり手に取ることがない歌集を手にとってみてください。新しい発見があると思います。

グッツ!とくる

# 短歌で楽しもう!

『ダイオウイカは知らないでしょう』  
 西加奈子 せきしろ 著  
 文芸春秋



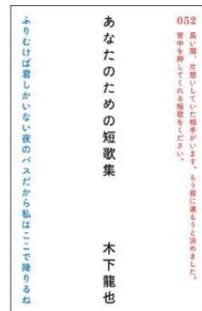
短歌初心者の西加奈子さんと文筆家のせきしろさんがゲストたちと共に、常識はずれの短歌道に挑戦!“規格外の名歌”が生まれた!!

『愛×数学×短歌』  
 横山明日希 編著  
 河出書房新社



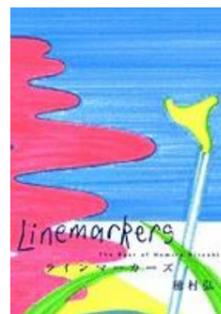
数学同好会の澤田君と、日常的に短歌に触れている北村さんが高校で出会い、別れ、また再会する。2人の心情を「数学短歌」として表現しています。愛と数学は一見遠い分野のようで、共有することがたくさんあります。新しい発見のできる、素敵な本との出会いでした。

『あなたのための短歌集』  
 木下龍也 著  
 ナナロク社



歌人・木下龍也さんが「お題」を受けて作歌する、短歌の個人販売プロジェクトが一冊の本になりました。これまで作歌した 700 首の中から「100 題 100 首」を収めています。歌人がひとりの想い(お題)と向き合うことで生まれた短歌が詰まった歌集です。(出版社より)

『ラインマーカーズ』  
 穂村弘 著  
 小学館



『ラインマーカーズ』は、木下龍也さんが短歌を始めるきっかけになった歌人の穂村弘さんの自選ベスト歌集です。穂村弘さんは、本の情報誌『ダ・ヴィンチ』の投稿企画「短歌ください」の選者をしておられます。的確な講評が、短歌それぞれの魅力をいっそう際立たせています。投稿された歌の中から、穂村さんが選んで、この『短歌ください』という本になりました。

『短歌ください』  
 穂村弘 著  
 角川書店



『サラダ記念日』  
 俵万智 著  
 河出書房新社



『プーさんの鼻』  
 俵万智 著  
 河出書房新社



『サラダ記念日』は著者24歳の時の作品で、短歌のイメージを一変させ大ブレイクしました。その8年後の作品、『プーさんの鼻』は、妊娠・出産・子育てをして、感動したり、驚いたりしたことを、忘れないように、31文字で書き留めたような歌集です。どちらも、たくさんの人に共感をよびました。

<3年生のみなさんへ>

1部

3年生の図書返却は

1月24日(金)までに

それ以降の貸出は入試に必要な場合のみです。図書館の本が必要な人は、担任の先生の許可をもらい、担任の先生の名前で借りてください。その際、返却日は必ず守ってください。返却日を守れない人が多くて、毎年大変困っています。忘れずに返却してください。ご協力をお願いします。